

1 中期学校経営計画

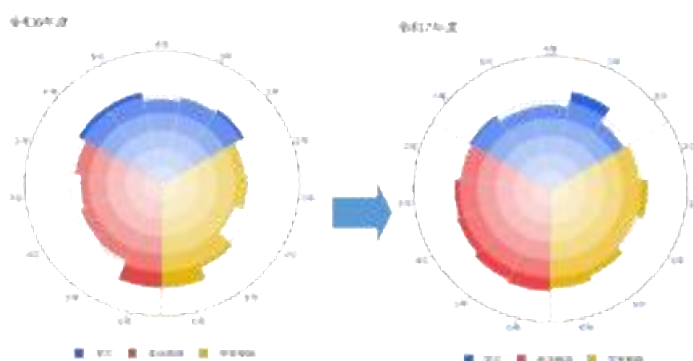
(1) 学校経営中期取組目標

学校経営中期取組目標	
○	多様なニーズに応えるために、「子どもを育てる」学校から「子どもが育つ」学校にしていきます。 ・「自分たちでやっていいんだ」という実感と手応えをもてる授業づくりを目指します。 ・全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びを一体的に実現できるようにします。
○	子どもたちが安心して自己発揮できる学校を、教職員、家庭、地域の方みんなで作っていきます。 ・「子どもは学ぶ意欲と学ぶ力をもった有能な学び手である」という肯定的な子ども観をもち、子どもの視点に立って考え、人権を尊重します。 ・手応え感覚（①充実感②達成感③自己有能感④一体感）を高めていけるよう、価値ある体験ができる環境づくりを学校教育全体で大切にしていきます。

(2) 学力向上に向けた重点取組分野・取組目標・具体的取組

重点取組分野	取組目標	具体的取組
生きてはたらく知	基礎・基本の定着を大切にしつつ、つながりの中で互いに高め合っていく授業を展開し、相手の思いや考えを受け止め、自分の思いを表現する力を高めていく。	①生活科・『横浜の時間』を中心として地域の材を活用し、子どもが自ら課題を見出し、主体的に解決できる力を育む。②協働的な学びを推進し、互いに情報を共有することで思考力・判断力・表現力を育てる。③スタートカリキュラムを意識し、これまでの子どもの学びや気づきを大切にした活動を展開する。④自分の思いや考えを伝え合うことや相手の心に寄り添うための語彙力を日々の学習活動を通して高める。
担当	学校運営部 D	

2 横浜市学力・学習状況調査からの実態把握



(1) 学力の概要と要因の分析

生活意識や学習意識の全体的な向上が見られる。日々の生活や学習に意欲的に取り組んでいることが伺える。またその成果もあり、学力も以前に比べて平均近くで安定してきている。「分かる」「できる」を実感できる授業作りを目指してきたことで、学習への意識や意欲の高まり

が感じられるので、引き続き基礎・基本の定着を図り、全体の学力を向上させていきたい。

(2) 経年変化の状況と要因の分析

ここ数年の結果を見ると、学力や学習意識・生活意識は市の平均を超えてきており、特に今年度は学習意識・生活意識が多くの学年で市の平均を上回った。意欲的に日々の学習や生活に取り組んでいることが伺える。引き続き、学習内容の基礎・基本の定着を図り、「授業が分かる」から、「学習が楽しい」「もっとやってみたい」というサイクルを生み出していく。また、人との関わりや友達との学び合いを大切にした学習活動を工夫して創り出していくことで、学ぶ楽しさや手応えを味わえるようにしていきたい。

3 令和8年度 学年・教科等としての具体的取組

1 学年

- 国語科等で、説明する文章、紹介する文章を書くなど、表現活動を大切にするとともに、できる限り対話をする場面を位置付ける。
- 自分の経験と結び付けて、感想や考えをもつ。
- 生活科等で、個々の思いや願いを大切に、他者との関わりから学びを深める学習展開を工夫する。

2 学年

- 国語科や算数科等で、基礎・基本の定着を図るとともに、自分の考えをもったり伝えたりすることができるようにする。
- 国語科等で、書いた文章を発表し合い、友達と感想を述べ合うなど、伝え合う場面を位置づける。
- 生活科等で、個々の思いや願いを大切に、他者と関わりながら、課題解決する学習を計画的に行う。

3 学年

- 各教科で基礎・基本の定着を図るために、計算や漢字等の反復練習やプリントに取り組み、理解力の向上を目指す。
- 自分の思いを伝えることができるようにするとともに、友達の考えの良いところにも気づき、伝え合うことができるようにする。
- 興味、関心を持続させながら取り組むとともに、見通しをもって最後までやり遂げる力を育む。

4 学年

- 各教科で基礎・基本の定着を図り、習得した知識を活用することができるようにする。
- 学んだことを日常生活で使うことができるよう、振り返りの時間を大切にする。
- 自分ごととして学びを理解できる場面を設定し、興味や見通しをもたせて学習意欲を高める。

5 学年

- 自分たちで課題を立て、解決していく学習の流れを確立し、学習意欲を高める。
- 基礎的な学習内容を身に付けられるように、計算や漢字等の反復練習や、テストやプリントの間違い直しなどに確実に取り組めるようにする。
- 各教科での話合いの時間を通して、多様な考え方を受け入れ、自分の考えを発信する力を養う。

6 学年

- 各教科での話合いの時間を通して、多様な考え方を受け入れ、自分の考えを発信する力を養う。
- 探究的な学習活動の楽しさを味わうとともに、学習意欲を高めていくことができるようにする。
- 思考力・判断力・表現力を高めるために言語活動の充実を図り、言語を使いこなす能力を高める。

個別支援学級

- 児童が、これからの社会において、少しでも主体的に生きていくことができるために必要な資質や能力の育成に努める。
- 児童の実態、発達の特性に応じた学習指導の展開、児童の主体的な活動の重視、個に応じた適切な支援などの学習指導の改善と工夫を行う。
- 個別の教育支援計画、指導計画を作成し系統的・段階的に学習を進める。